

2011 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 13:25~14:25 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(30点)

ギリシア人は、紀元前8世紀ごろからポリスと呼ばれる都市国家を各地に建設しはじめた。(A)人が建設したアテネとドーリア人が建設したスパルタは、その代表格である。

貿易活動の活発化や金属の輸入により武器が安価になると、アテネの富裕な平民は自前の武器で戦争に参加し、重装歩兵として軍の主力を形成した。国防の中核を担うようになった平民は、参政権を求めて貴族と対立していく。その後、アテネは民主政への道をあゆむこととなった。他方、スパルタは鎖国体制をしき、厳格で軍国主義的な規律を課して陸軍ではギリシア最強を誇った。

ミレトスなどのギリシア人植民市の反乱に端を発したペルシア戦争では、アテネやスパルタを中心とするギリシア軍が最終的な勝利をおさめた。その後、アテネはデロス同盟の盟主をつとめ、その民主政はペリクレスの時代に最盛期をむかえる。

だが、スパルタはアテネのこうした強大化に危機感を抱き、両者の対立によりペロポネソス戦争が勃発することになった。当初はアテネ優勢であったが、ペリクレスの死後は衆愚政治に陥り、結局はペルシアと結んだスパルタが勝利した。その後、一時的にテーベがギリシアの覇権を握るものの、カイロネイアの戦いでテーベとアテネの連合軍はマケドニアに敗北を喫してしまう。マケドニアのフィリッポス2世は、スパルタ以外のギリシアの全ポリスを集めた(B)を結成させ、自己の支配下においた。

アレクサンドロス大王の死後、その配下の部将であった(C)はマケドニア王国を建て、ギリシア地方を支配した。しかし、紀元前2世紀になると、ギリシア都市の要請にこたえてローマがギリシア方面に進出していく。当初のローマはマケドニアと戦いギリシア都市を解放して自由を与えることもあったが、次第にギリシアへの侵略姿勢を強めていった。その結果、マケドニア王国を滅ぼしたローマは、紀元前146年にギリシア都市同盟を破った。

キリスト教を国教としたテオドシウス帝は、その死に際してローマ帝国を東西に二分し、アテネなどのギリシア地方は東ローマ帝国(ビザンツ帝国)領となった。7世紀にはビザンツ帝国のギリシア化が進み、ギリシア語が公用語となる。また、ビザン

ツ文化はギリシア古典文化の継承・保存に努め、それが後にイスラーム世界に伝えられ、そこからさらに12～13世紀の西ヨーロッパに入り、最終的にイタリア＝ルネサンスにも影響を与えることになった。^④

13世紀末に建国されたオスマン帝国は、ビザンツ帝国領への攻撃を繰り返しながらバルカン半島へ進出していった。その後、コンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅亡に追い込んだ（D）の在位中に、ギリシアはほぼオスマン帝国^⑤の支配下におかれることになる。

19世紀のオスマン帝国は、いわゆる「東方問題」に見舞われた。多民族国家のオスマン帝国が衰退に向かうと、支配下の諸民族が独立運動に立ち上がり、そこに西欧列強からの干渉が加わるようになったのである。ギリシア独立は、その典型例と言ってよい。1821年にギリシア独立戦争が起こると、オスマン帝国はフランスの画家（E）による作品の題材ともなったキオス（シオ）島の虐殺などにより弾圧をはかったが、西欧の義勇軍はギリシア支援に乗り出した。さらに、イギリス・フランス・ロシアが自国利害を考慮してこの戦争に介入していく。結局、1829年のアドリアノーブル条約をへて、翌年のロンドン会議でギリシアは完全独立を承認され、1832年にギリシア王国が成立したのである。

問1 A～Eに最も適切な語句を入れなさい。

問2 下線部①について、現在の民主政治との主な相違点を60字以内で説明しなさい。

問3 下線部②について、アケメネス朝ペルシアの始祖キュロス2世が紀元前550年に滅ぼした国家の名前は何か。

問4 下線部③について、その後テオドシウス2世によって開催され、ネストリウス派を異端とした公会議の名前は何か。

問5 下線部④について、13世紀にキリスト教の教理とアリストテレス哲学の結合につとめ、スコラ哲学を大成した人物は誰か。

問6 下線部⑤について、その後のオスマン帝国の記述として正しくないものを、次のア～エの中から1つ選びなさい。

- ア. セリム1世はアイユーブ朝を滅ぼし、メッカ・メディナの支配権を手に入れた。
- イ. マフムト2世はイエニチェリを全廃し、オスマン帝国の近代化につとめた。
- ウ. セリム3世は新軍隊ニザーム=ジェディットを創設し、近代化政策を進めた。
- エ. アブデュル=メジト1世はギュルハネ勅令を發布し、タンジマートを開始した。

問7 下線部⑥について、ギリシア独立戦争に身を投じたことで有名なイギリスのロマン派詩人を次のア～エの中から1人選びなさい。

- ア. スコット
- イ. バイロン
- ウ. ホイットマン
- エ. ワーズワース

II 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(20点)

第一次世界大戦の講和会議がパリで始まったのは、1919年1月である。フランスは、ドイツからのアルザス・ロレーヌ地方の返還を認めさせた。また、対ドイツ強硬路線をとる勢力が戦後に権力を握ったフランスは巨額の賠償金支払いを厳しく求め、

(A) 右派内閣の時にはベルギーとともにドイツの工業地帯ルールを占領する。だが、これは国際的非難を浴び、その後ブリアン外相のもとでドイツとの和解が進むことになった。他方、国内の雇用・福祉政策の面では、この時期のフランスは8時間労働日の法制化(1919年)、社会保険制度の整備(1928年)を実現している。

フランスはロシア革命により旧ロシアへの莫大な海外投資を失ったものの、1924年に第一次世界大戦前の生産水準を上回った。依然として農業人口の割合が高かったが、フランスの自動車産業は1920年代末には世界有数の生産高を誇っていた。しかし、1930年代に入って世界恐慌の影響が現れてくると、フランスは植民地や友好国との間でブロック経済化を押し進めていく。

この時期、フランス国内の政局は不安定であったが、やがて反戦・反ファシズムの旗印のもとに中道・左派勢力がまとまり、人民戦線が形成された。人民戦線派は1936年の選挙で圧勝し、社会党の(B)を首相とする連立内閣が誕生する。同内閣のもとで週40時間労働制、有給休暇制度の導入などが推進されたが、資本家側は資本の国外流出により対抗した。また、スペイン内戦に際しては、フランスはスペイン人民戦線政府への武器輸出を禁止して不干渉政策をとり、結果的にフランコ側を利することになった。

当時のドイツでは1933年にヒトラー率いるナチスの一党独裁が確立し、再軍備宣言を行うとともに、対外的な侵略政策を強行していく。そして、1939年のポーランド侵攻に至ってフランスはそれまでの宥和政策を捨て去り、イギリスとともにドイツに宣戦布告し、ここに第二次世界大戦が始まることになる。

開戦当初のドイツは破竹の勢いを誇り、1940年6月にパリを占領した。この結果、フランス第三共和政が崩壊し、北半分はドイツの占領下に置かれ、南半分は(C)を国家主席とするヴィシー政府が統治することになった。こうした動きに抵抗するドゴールたちはロンドンに亡命政府をつくり、フランス国内にもその後ド

イツに対する抵抗運動としてのレジスタンスが広まっていった。

戦後の西ヨーロッパ諸国は経済的な困窮に見舞われたが、共産主義拡大を阻止する手段の一環として当時のアメリカの国務長官が提案した（ D ）を受け入れ、経済復興を進めていく。そうした中、2度の世界大戦への反省から、石炭や鉄鋼を共同管理し、各国の対立を防止しようとする構想が西ヨーロッパに現れた。その結果、1952年にはフランスのシューマン外相の提案により、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）が成立した。1967年にはECSC、ヨーロッパ経済共同体（EEC）およびヨーロッパ原子力共同体（EURATOM）の3共同体が合併してヨーロッパ共同体（EC）が発足する。その後、ECはイギリス・ギリシア・スペインなどを加えた後、1992年の（ E ）条約の調印後にヨーロッパ連合（EU）となり、現在に至っている。

他方、戦後のフランス政治は、フランス臨時政府の首相であったド=ゴールが下野し、第四共和政が成立した。この時代のフランスは、従来の植民地主義の清算を迫られていく。ベトナムやアルジェリアでは、第二次世界大戦の終結時から独立に向けた動きが活発化していたが、その後、それぞれ独立を成し遂げた。

また、フランスはド=ゴール内閣の時にサハラでの核実験に成功し、世界で4番目の核保有国になっている。ド=ゴールは、1949年に建国されていた（ F ）の承認（1964年）や北大西洋条約機構（NATO）への軍事協力を拒否（1966年）するなど当事の米ソ間にあって独自外交を展開し、1969年に退陣を余儀なくされるまで「フランスの栄光」を追い続けた。

問1 A～Fに最も適切な語句を入れなさい。

問2 下線部①について、次のア～エの出来事を年代順に並べ替えなさい。

- ア. オタワ連邦会議（イギリス連邦経済会議）が開催される。
- イ. ワグナー法が制定される。
- ウ. フーヴァー=モラトリアムが発せられる。
- エ. 全国産業復興法（NIRA）が制定される。

問3 下線部②について、この時に国際義勇軍に参加していない人物を次のア～エの中から1人選びなさい。

ア. オーウェル

イ. プルースト

ウ. マルロー

エ. ヘミングウェイ

問4 下線部③について、第三共和政における初代大統領は誰か。

III 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(30点)

中国は自他共に認める「文字の国」である。神話によれば、文字のない時代、人々は縄を結んで何らかの目印とするのみであった。蒼頡^{そうげつ}という神はこれを憐れみ、鳥の足跡にヒントを得て文字を考え出したのだという。これが神話における漢字の起源である。

目を歴史的事実^①に転じれば、早くも紀元前11世紀には殷王朝で占いの内容を記すことを目的の一つとする独自の文字が使用されていたことは明らかである。この文字は春秋戦国時代を経て、現代に至る漢字の原型を形作る。六国を統一した秦の時代には篆書^{てんしよ}と呼ばれる書体が生まれた。前漢には隸書、後漢には楷書が開発された。書体のみに話を限れば、六朝までに漢字の字体は完成する^②といつてよい。

早い時期から文字が発達したことにより、中国においては古代の文学作品も多く残されることとなった。春秋戦国時代に活躍した諸子百家の説^③は書きとどめられて現在に伝えられている。漢代には散文と韻文の中間的な賦^みと呼ばれる文学が盛行した。後漢の末から西晋にかけては建安七子^{けんあんしちし}と呼ばれる文学者が活躍した。

六朝時代は詩の格律^{かくりつ} (詩作上のルール) ^④が厳格化した時代として知られる。またそれまでの詩文の精華を集めた『文選』や『玉台新詠』が編まれたことも重要と言えよう。こうした基礎を踏まえ、隋を経た唐では詩が一つの全盛期を迎えることとなったのである。また、六朝時代における文学史上の重要事項として仏教の伝来に伴う仏典の翻訳作業^⑤が本格化したことも指摘するべきだろう。次の唐代に到るまで仏僧による經典の翻訳とインドへの求法^{きぼう}の旅が盛んに行われることとなる。

唐代の文学史は詩から見た場合初唐・盛唐・中唐・晩唐の4期に分けられる。初唐では六朝の影響を受けた流麗な詩風が流行した。盛唐は李白に代表される詩人たちが活躍し、中国文学史上でも詩の極盛期と讃えられる。中でも酒を愛し詩に歌った8人の詩人は「飲中八仙」^⑥と称された。中唐は韓愈・柳宗元・白居易といった詩人に代表される。晩唐においては李商隱、温庭筠らの名が知られる。

五代を経て宋に入ると詩とともに詞が盛行する。詞とはもともと曲に与えられた歌詞であったが、次第に曲を離れて歌詞自体が文芸として自立するようになったものである。また世襲貴族層の没落に伴って士大夫層の力が増した^⑦ことにより、講談のよう

な庶民の文芸も記録に残るようになる。江南の開発とともに経済力も向上し南宋の都は空前の繁栄をとげた。また宋代には論説文が発展したことも指摘しなければならない。前の唐代の詩人と合わせ、唐宋の有名な文人をまとめて「唐宋八大家」と称する。^⑨

宋を滅ぼした元では色目人が重用されて漢人官僚は必ずしも以前までのように重んじられず、そのため士大夫層の文人が食いつなぐため庶民の芝居の脚本を書くことがしばしばあった。これによって戯曲の質が大いに向上したとされる。この芝居は元曲と称され今に約 300 種の脚本が伝わる。^⑩

明の時代は前代までの戯曲に続き、士大夫層や商人層の台頭に伴い彼らの娯楽のための小説が発展した。これらは宋代に始まる講談をその源流としていることが多い。中国を代表する伝統的な小説として四大奇書が挙げられるが、そのいずれもが明代の作とされている。^⑪

清代にはそれまでの文学作品を大成する動きがみられる。代表的な例として、後世に残すべきと判断された書籍すべてを集成した 8 万巻に迫る叢書『四庫全書』が編まれたことが挙げられよう。しかし小説や語り物の多くは後世に残す価値がないとみなされて『四庫全書』には収録されなかった。他にも漢字の規範を定めた『康熙字典』、一種の百科辞書と言うべき『古今圖書集成』など大規模な文化事業が行われている。^⑫

このように、漢字をその基礎とする中国文学の歴史は文学ジャンルの増加の歴史でもある。伝統的な中国文学の枠組みは清朝において大成された。近代に入ると西欧文学の影響によって今度は白話小説や口語詩、評論などのジャンルが新たに加わることとなる。そして現代では村上春樹をはじめとする日本現代文学の翻訳や漫画・ライトノベル・携帯小説なども盛んに出版されてジャンルの多様化が加速している。

問 1 下線部①について、この文字の名は何か。

問 2 下線部②について、この時代に文字を記す紙を作る技術に改良を加えたとされる人物は誰か。

問 3 下線部③について、彼らのうち、君主の制定した法による統治を重視した学派に属し、始皇帝の丞相となった人物は誰か。

問4 下線部④について、彼らの活躍した時代にあつて、後漢を滅ぼし魏を建国した人物は誰か。

問5 下線部⑤について、編者は誰か。

問6 下線部⑥について、西域の亀茲出身の僧で仏図澄の後涼州・長安にて仏典漢訳に努めた人物は誰か。

問7 下線部⑦について、この用語は「飲中八仙歌」という詩に由来する。李白と並び称されるこの詩の作者は誰か。

問8 下線部⑧について、これには隋から始まる官吏登用試験が大きく影響している。この試験の名は何か。

問9 下線部⑨について、この8人に入らない人物を次のア～エの中から1人選びなさい。

ア. 王安石 イ. 欧陽脩 ウ. 蘇軾 エ. 司馬光

問10 下線部⑩について、元の時代の作品ではないものを次のア～エの中から1つ選びなさい。

ア. 王実甫『西廂記』 イ. 高則誠『琵琶記』
ウ. 馬致遠『漢宮秋』 エ. 孔尚仁『桃花扇傳奇』

問11 下線部⑪について、この4種の作品にあてはまらないものを次のア～エの中から1つ選びなさい。

ア. 『三国志演義』 イ. 『紅樓夢』
ウ. 『水滸伝』 エ. 『金瓶梅』

問12 下線部⑫に関連して、康熙帝の代に完成された版図の統一および外国との国境確定について「吳三桂」「台湾」「ロシア」の語を用い、50～80字で説明しなさい。

問13 下線部⑬について、『狂人日記』などの小説を著して白話文学を推進した文学者は誰か。

IV 以下の文章を読んで、A～Jに最も適切な語句を入れなさい。(20点)

1945年に日本が降伏し第二次世界大戦が実質的に終了すると、東南アジア地域は日本の占領から解放された。それまでフランスの植民地であったベトナムも例外ではない。戦後フランスは植民地支配を再開しようとしたが、ベトナムが再び植民地として支配されることを易々と受け入れることはなかった。

1930年に結成されたベトナム共産党の指導者(A)は1941年に(B)を結成し日本軍に抵抗した。日本の降伏後(A)はベトナム民主共和国の独立を宣言したが、フランスはこれを認めず(C)戦争(1946年～1954年)が勃発した。1949年にフランスは阮朝最後の皇帝バオ=ダイを立ててフランス連合内の一国としてのベトナム国を建て、フランスの傀儡かいらいとした。

1954年にフランスは(D)の戦いで敗れ、ジュネーブ休戦協定を結んでベトナムから撤退した。しかし北緯17度線を軍事境界線として北をベトナム民主共和国(北ベトナム)、南をベトナム国からかわったベトナム共和国(南ベトナム)として分断した。

南ベトナムではアメリカの支援を受けた(E)が政権を握り、反共政策を推進した。これに対して反政府組織の南ベトナム解放民族戦線は北ベトナムと連携してゲリラ戦を展開した。南ベトナムは度重なるクーデターで政情不安が続き、1963年には(E)本人が暗殺される混乱もあって有効な対策を打てずにいた。そこでアメリカは1965年から直接介入に乗り出し、航空兵力による北ベトナムへの爆撃を開始し、続いて地上兵力も投入してベトナム戦争をおこした。

北ベトナムはソ連と中国の援助を受けてゲリラ戦で抵抗し、戦争は泥沼化した。アメリカの軍事介入は国際社会の批判を浴び、ベトナム反戦運動が世界各地で繰り広げられた。アメリカは国際的に孤立し、結局1973年にパリ和平協定に調印、南ベトナムから撤退することとなった。

1975年春に北ベトナムは南ベトナムの首都サイゴンを占領してベトナム全土の統一を果たし、1976年にハノイを首都とする(F)の成立を宣言した。

しかしこれでベトナムに平和が戻ったわけではない。中ソ対立を反映する形で、建国間もない1978年末にベトナム軍はソ連の援助を受け中国と関係の深い隣国カンボ

ジアに侵攻した。カンボジアを支配していた（ G ）政権はソ連と友好的なベトナムと断交していたのである。ベトナム軍は首都プノンペンを占領してヘン=サムリンを政権首班にすえた。ヘン=サムリンは当時のカンボジアの指導者（ G ）へのクーデターを企てて失敗しベトナムに亡命していた人物である。この後ベトナム軍は1989年までカンボジアに駐留し続けて国際的な批判を浴び、ベトナムに経済的な困難をもたらした。

一方でソ連と対立していた中国はベトナムのカンボジア侵攻に反対し、懲罰と称して1979年2月にベトナム北部へ侵攻した。開戦の要因には、この他にもベトナムが旧南ベトナム地域の華僑を追放したり弾圧したりしていることへの反発もあったとされる。しかし実戦経験豊富なベトナム軍は中国軍を撃退し、戦争は約1か月で終結した。これを（ H ）戦争という。

うち続く戦乱によってベトナムからは大量の難民があふれ、彼らはカンボジアの難民と合わせて「インドシナ難民」と称された。中には漁船やヨットに乗って国外脱出を図る人々もおり、漂流の末日本に収容された人々も多い。このような難民はボートピープルと呼ばれ大きな国際問題となった。

1986年末からベトナムはソ連の（ I ）と呼ばれる改革にならい、（ J ）と呼ばれる改革開放路線に転じた。これは共産党の支配を維持したままでの外国資本の導入や市場経済への移行を進め経済発展を目指す政策である。中国やカンボジアなど隣国との関係も修復に向かい、1995年にはASEANへの加盟を果たした。

